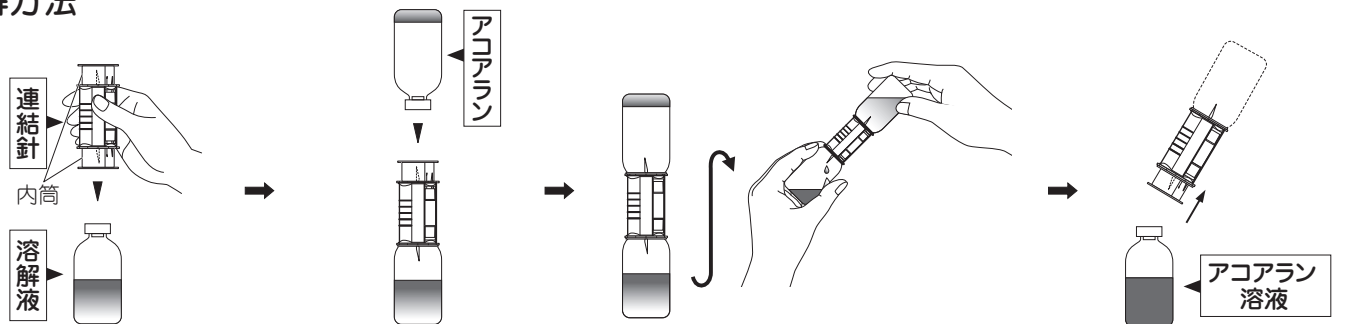


# アコアラン<sup>®</sup> 静注用600・1800

## 溶解方法と適用上の注意

### ■ 溶解方法



溶解液注入針(連結針)の本体側部を持って溶解液のバイアルゴム栓にまっすぐ深く刺しこむ。<sup>注1)</sup>

連結針のもう一方に、アコアランのバイアルゴム栓をまっすぐ深く刺し込む。

溶解液が上になるように逆転する。液が流れ始めたら液ができるだけアコアランのバイアルの壁面に沿って流れ込むように傾ける。<sup>注2)</sup>

溶解液の空バイアルは連結針と共に抜き去る。

注1) 連結針の両端にある内筒は、押すと本体に格納され針が露出するため、直接触れないでください。

連結針は必ず先に溶解液のバイアルに刺してください。

注2) 本剤に溶解液全量を加えた後、静かに円を描くように回して溶解してください(強く振らないでください)。

### ■ 適用上の注意

#### 【調製時】

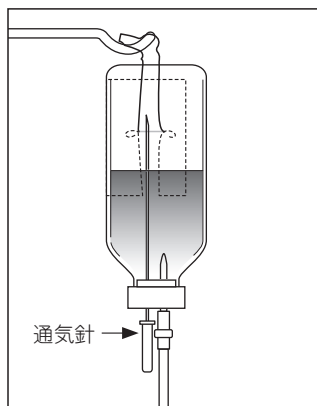
- ・ 調製前に本剤及び添付溶解液を室温に戻しておいてください。
- ・ 添付の溶解液を用いて溶解してください。
- ・ 原則として、他剤との混合注射は避けてください。
- ・ 溶解後はできるだけ速やかに使用してください。
- ・ 使用後の残液は細菌汚染のおそれがあるので使用しないでください。

#### 【投与時】

- ・ 沈殿の認められるもの又は混濁しているものは投与しないでください。
- ・ 溶解した液をシリコンオイルが塗布されているシリンジで採取した場合、浮遊物が発生することがあります。投与前に浮遊物がないか目視で確認してください。浮遊物が認められた場合には投与しないでください。

〈アコアラン静注用1800につきましては、裏面もご覧ください。〉

# アコアラン<sup>®</sup> 静注用1800に添付の通気針の使用法



点滴静注する際に、通気針の先端が液面より上に出るように突き刺して使用してください。(上図参照)

1. アコアラン静注用1800バイアルゴム栓に輸液セットのびん針を刺し、バイアルを逆さまにつるしておく。
2. 通気針のフィルタ部分（通気部）を指で蓋をした状態のまま、アコアラン静注用1800のバイアルゴム栓に刺し、通気針の先端が液面より上に出たことを確認してから、指を放す。

## 〈注〉

- ・市販の輸液セットなどに組み込まれた通気針は、針が短く先端が液面より上に出ないため、点滴の際に気泡を生じますので、添付の通気針を使用してください。
- ・輸液セットのびん針及び通気針は連結針と同じ位置に刺すと液もれを起こすことがありますので別の位置に刺してください。
- ・包装袋が破損している場合は使用しないでください。
- ・通気針の使用は一回限りです。